

事業番号	02 06 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課				
		実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	④観光消費額			⑦健康寿命					
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見			3-7 先端技術の積極的な活用・導入			3-8 生活を支える地域交通の確保		

1 現状と課題

- ・地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところであるが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化していることに加え、燃料価格の急激な高騰による負担の増加が、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。
- ・公共交通は広域圏（生活圈）全体で最適化を図ることが必要であり、市町村が個別で検討するのは非効率的。

2 事業目的

- 持続可能な公共交通の構築
 - ・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。
 - ・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。
- 営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①地域間幹線システムの確保維持**
 - ・乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費、車両減価償却費を支援
 - ・県でバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する事業者に貸与することでバス路線を基盤強化
 - ・広域的・基幹的なバス路線を確保するため、地域間幹線バス路線の運行継続に要する経費を支援
- ②持続可能で最適な地域公共交通システムの構築**
 - ・地域公共交通の持続的発展のため、交通事業者・国・市町村等とともに、広域的な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組を実施
- ③公共交通情報のオープンデータ化**
 - ・公共交通の利用促進のため、バス路線情報をインターネットの経路検索サービス等で検索できるよう交通情報のオープンデータ化を推進
- ④バス・タクシー燃料価格高騰対策等経営支援**
 - ・地域交通の運行を確保するため、コロナ禍における燃料価格高騰により厳しい経営環境にあるバス・タクシー事業者の運行継続に要する経費を助成し、経営を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績			
①	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	人	23.7	22.7	↘	22.9	↗	23.7	未達成 地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定。目標設定時に算出されている最新の実績（2年度前）と同水準を維持することを目標に設定。
②	営業用トラックの交通事故件数	件	149	110	↗	140	↘	149	達成 営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定。目標設定時に算出されている最新の実績（2年度前）と同水準を維持することを目標に設定。
③	（参考指標）地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率	%	79.9	80.3	—	83.4	—	—	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	25,484	619,066	878,100	1,522,650	569,620	1,221,059	4.0
R3年度	42,112	661,624	1,415,883	2,119,619	622,022	2,016,746	4.0
R2年度	0	622,134	774,800	1,396,934	570,049	1,274,578	4.0

事業番号	02 06 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	バス等振興対策事業費		部局	企画振興部	課・室	交通政策課

6 主な取組実績と成果

①地域間幹線系統の確保維持

- 乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費、車両減価償却費を支援した（運行欠損費：7社、29系統、168,798千円、減価償却費：2社、16台、17,822千円）
- 県でバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する事業者に貸与することでバス路線を基盤強化した（3台）
- 広域的・基幹的なバス路線を確保するため、地域間幹線バス路線の運行継続に要する経費を支援した（5社、39,151千円）



②持続可能で最適な地域公共交通システムの構築

- 交通事業者・国・市町村等の関係者からなる法定協議会を計2回開催し、令和5年度中の長野県地域公共交通計画策定に向けて、計画の骨子等について意見交換を実施した。
- 地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援した（R4：2地域）



③公共交通情報のオープンデータ化

市町村・事業者向けのセミナーを10月に開催し73名が参加した。その後、市町村・事業者自身の作業、委託事業者による作業を進め、市町村数ベースで86.4%、事業者数ベースで72.7%の路線バスのデータ作成が完了した。



④バス・タクシー燃料価格高騰対策等経営支援

バス・タクシー事業者計251者に対し、総額458,850千円の支援金を交付し、コロナ禍における燃料価格高騰により厳しい経営環境にあるバス・タクシー事業者の経営を支援した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
地域間幹線バスの1日あたり輸送量については、コロナ禍による外出自粛等の影響もあり、輸送量が大きく減少している。人流が戻りつつあるR4年度は前年度に比べ、実績改善となったが、目標は達成することができなかった。							
指標②	営業用トラックの交通事故件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
営業用トラックの交通事故件数については、運輸事業振興助成補助金を通じた交通安全対策事業の効果もあり目標値を上回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- 県がバス車両を所有し、乗合バス事業者が運行する「県有民営」方式のバス車両について、これまで年3台（減価償却方式とあわせて年6台）としてきたが、更新必要車両が増加してきたことにより、事業者からの要望に応えきれいいなかった。
- 路線維持・確保のための支援をしてきたものの、人口減少の急速な進行に加え新型コロナウイルスの影響が重なり、公共交通を民間事業者の独立採算により維持していくことが困難な状況。
- 公共交通情報のオープンデータ化について、R4年度事業において研修会等を実施しデータ（バス停の位置・ダイヤ情報・運賃情報等）の整備が進んだものの、その更新（ダイヤの変更等）作業の負担について、市町村担当者から不安の声が聞かれた。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- 県で購入するバス車両をR5年度には7台（減価償却方式とあわせて年10台）に拡充し、事業者の負担を軽減し、適切な車両更新を促していく。
- 交通事業者・国・市町村等とともに、持続可能で最適な地域公共交通の在り方について検討を行い、抜本的な見直しを推進していく。
- 正確な公共交通の情報を県民に提供するため、オープンデータ活用事業において市町村・事業者のデータ更新を支援していく。

事業番号	02 06 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	バス等振興対策事業費		部局	企画振興部	課・室	交通政策課

細事業No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	280,387 千円	339,323 千円	303,960 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 【補助件数 7件（7者 29系統）、補助総額 168,798千円】	
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 【補助件数 2件（2者 16台）、補助総額 17,822千円】	
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 【購入台数 3台 購入総額 78,189千円】	
4	地域間幹線バス路線の運行継続に対する補助金	補助金	広域的・基幹的なバス路線を確保するため、地域間幹線バス路線の運航継続に要する経費を補助 【補助件数 5件（5者 19系統）、補助総額 39,151千円】	

細事業No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	運輸事業振興助成補助金	310,177 千円	310,595 千円	317,258 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 【補助件数 2件（2者）、補助総額 317,258千円】	

細事業No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	公共交通乗換案内サイト構築事業	5,995 千円	千円	1,980 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州ナビを活用したデータ分析事業	委託	データ分析機能を活用しデータを収集、集計するためのサーバー及びGPS情報や操作情報を蓄積するためのストレージを運用 【信州ナビダウンロード延べ件数 93,534件】	

細事業No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	みんなのタクシー利活用促進事業	4,300 千円	3,600 千円	6,214 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	タクシー事業支援総合交付金	補助金	地域の生活を支える公共交通であるタクシーの経営基盤を強化するため、事業者の運転手確保やバリアフリー化のための取組を支援 【第二種運転免許24人取得・ユニバーサルデザインタクシー7台導入・広報番組作成】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	312 千円	112 千円	149 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の課題解消を促進するため、市町村に対してくらしの足の最適化促進の他、観光交通の充実等多様な連携に対する助言等を行うモビリティアドバイザーを派遣 【モビリティアドバイザーの派遣 3市町村】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	地域公共交通最適化推進事業	4,686 千円	23,787 千円	39,040 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	持続可能で最適な地域公共交通システム構築事業	負担金	地域公共交通の持続的発展のため、交通事業者・国・市町村等とともに、広域的な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組を実施 【長野県地域公共交通活性化協議会全体会2回・地域別部会全10圏域、計28回開催】	
2	地域公共交通計画策定支援事業	補助金	地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援 【補助地域数 2地域】	
3	公共交通情報オープンデータ化推進事業	委託	・公共交通の利用促進のため、路線情報をインターネットの経路検索サービス等で検索できるよう交通情報のオープンデータ化を推進 ・県内のバス路線情報を国が定めるデータ形式（GTFS-JP）で一括して作成 【GTFS整備状況 市町村86.4% 事業者路線72.7%】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	千円	8,728 千円	2,356 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業補助金	補助金	県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、乗合バス事業者に対し、機器導入費用等に対し支援 補助件数：2件、補助総額 2,356千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	バス・タクシー燃料価格高騰対策等経営支援事業	千円	千円	458,850 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	バス・タクシー燃料価格高騰対策等経営支援事業	交付金	県民生活を支える地域交通の運行を確保するため、コロナ禍における燃料価格高騰により厳しい経営環境にあるバス・タクシー事業者の運行継続に要する経費を助成し、経営を支援 ・補助対象者：バス・タクシー事業者 ・補助対象経費：運行継続に必要な燃料費 ・補助率：定額（バス：20万円/台、タクシー：5万円/台） 【支援件数 251件（251者）、支援総額 458,850千円】	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
9	貨物自動車運送事業燃料価格高騰対策支援事業				71,360 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	貨物自動車運送事業者エコタイヤ導入支援事業	補助金	燃費高騰によるコスト削減やCO2削減による環境負荷の軽減を図るため、長野県トラック協会が行うエコタイヤを導入する貨物自動車運送事業者を支援 【支援件数 1件、支援額 57,883千円】		
2	貨物自動車運送事業価格転嫁促進事業	補助金	安定的な物流輸送の確保を図るため、長野県トラック協会が行う燃料サーチャージ制の周知等に必要な広報啓発費を助成 【支援件数 1件、支援額 13,477千円】		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
10	公共交通利用促進事業				19,892 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	公共交通利用促進事業	委託	コロナ禍で減少した公共交通の需要回復のため、県内を運行する鉄道、路線バス、タクシー車両等に公共交通機関の安全性や感染症対策を徹底した上での積極的な利用を呼び掛ける広告を掲出 【掲出先公共交通事業者：鉄道5社 バス5社 タクシー83社】		